

2023年度 ダイバーシティ&インクルージョン関連科目

No.	開講年度	開講時期	科目種別	授業科目名	担当教員	授業番号	科目ナンバリング(2018年度以降入学生対象)
1	2023年度	前期	基礎科目群	基礎ゼミナール	松田 真希子	A0110	GAA-101-3: 全学共通科目
2	2023年度	前期	基礎科目群	基礎ゼミナール	金野 達也	A0759	GAA-101-3: 全学共通科目
3	2023年度	前期	基礎科目群	基礎ゼミナール	山西 葉子	A0760	GAA-101-3: 全学共通科目
4	2023年度	前期	キャリア科目	国際交流概論Ⅰ	岡村 郁子、嶋内 佐絵	Z0090	GAG-106-1: 全学共通科目 / XGE-131-1: 国際副専攻コース
5	2023年度	後期	教養/都市・社会・環境	社会と福祉	矢嶋 里絵	X0074	GBA-102-1: 全学共通科目
6	2023年度	後期	教養/文化・芸術・歴史	フランス語圏の文化	西山 雄二	X0023	GBB-120-1: 全学共通科目
7	2023年度	前期	教養/文化・芸術・歴史	日本語と社会と文化	松田 真希子	X0126	GBB-124-1: 全学共通科目
8	2023年度	前期	教養/生命・人間・健康	臨床心理学概論(生活の心理学)	村松 健司、田中 里実	X0154	GBC-101-1: 全学共通科目
9	2023年度	前期	基盤/人文科学領域	人間・文化・社会	西山 雄二 ほか	Y0013	GCA-101-1: 全学共通科目
10	2023年度	前期	基盤/人文科学領域	社会学A文	丹野 清人	Y0031	GCA-103-1: 全学共通科目
11	2023年度	後期	基盤/人文科学領域	社会学B理	堀内 進之介	Y0061	GCA-104-1: 全学共通科目
12	2023年度	前期	基盤/人文科学領域	文化人類学A	綾部 真雄	Y0005	GCA-105-1: 全学共通科目 / XGE-134-1: 国際副専攻コース
13	2023年度	前期	基盤/人文科学領域	社会福祉学	坏 洋一	Y0046	GCA-107-1: 全学共通科目
14	2023年度	後期	基盤/人文科学領域	教育学	杉田 真衣	Y0066	GCA-110-1: 全学共通科目
15	2023年度	後期	基盤/社会科学領域	政治理論入門	大澤 麦	Y0054	GCB-104-1: 全学共通科目
16	2023年度	後期	基盤/健康科学領域	基本動作と移動障害	橋本 美芽	Y0069	GCD-103-1: 全学共通科目
17	2023年度	後期	基盤/健康科学領域	基本動作と移動障害	橋本 美芽	Y0070	GCD-103-1: 全学共通科目

◆ **科目別** (掲載項目を限定しておりますので、あわせてシラバスもご確認ください)

No. 1

授業番号	A0110	科目種別	基礎科目群
授業科目	基礎ゼミナール		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GAA-101-3:全学共通 科目	担当教員	松田 真希子
		開講期	前期
授業方針・テーマ	<p>テーマ【日本語の境界を耕す】</p> <p>外国人が日本語を学ぶときに使う日本語の教科書の分析を通して、日本語教育という分野に対する理解を深めるとともに、日本語社会のダイバーシティ&インクルージョン (D&I) について批判的に考えることを目指す。</p>		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<p>(1) 日本語教科書分析をとおして、日本語教育についての理解を深めることができる</p> <p>(2) テキストマイニング等、言語分析方法についての技術を身につけることができる</p> <p>(3) 日本語の教科書におけるジェンダーについての論文購読を通じて、論文を読み、レジュメをつくる経験を積むことができる</p> <p>(4) 日本語教科書をダイバーシティ&インクルージョンの観点から分析し、課題と改善提案を発表することで、口頭発表の練習を行うことができる</p> <p>(5) 発表内容を論文にすることでアカデミックライティングのスキルを高めることができる</p>		

No. 2

授業番号	A0759	科目種別	基礎科目群
授業科目	基礎ゼミナール		
科目ナンバリング	GAA-101-3:全学共通	担当教員	金野 達也
(2018年度以降入学生対象)	科目	開講期	前期
授業方針・テーマ	<p>テーマ【自分や他者にとって大事な活動（作業）について考える】</p> <p>病気や障害によって、自分にとって大事な活動（作業）ができなくなることがある。リハビリテーションの現場では、その人にとって大事な活動（作業）が再びできるように支援する。その人にとって大事な活動（作業）は、多種多様であり、同じ活動であったとしても、その人によって作業の形態・意味・機能が異なる。本ゼミナールでは、自分や他者がどのような作業をし、その作業にどのような意味や機能があるかを検討していきます。また、地域で暮らす高齢者・様々な障害をかかえている人（脳血管障害・脊髄損傷・関節リウマチ・大腿骨頸部骨折・脊椎圧迫骨折）の立場になり、どのような作業に困難を抱えているか、作業を困難にさせている原因やその対策などについて、グループごとにテーマを決め、調査・検討する。お互いの発表を聞き討論することを通して、理解を深めていく。</p>		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら身の回りの事象に関心を持ち、自ら行動し、学び、考え、見出すという能動的な学習姿勢を身につける（能動的学修姿勢）。 ・自ら主体的に問題意識を持ち、テーマを設定することができる（情報活用能力）。 ・テーマに必要な資料を収集し、議論・検討・考察し、その課題について思考・解決する能力を身につける（情報活用能力）。 ・グループワークや討論を通して、コミュニケーション能力や論理的な思考を身につける（コミュニケーション能力）。 ・発表を通してプレゼンテーション能力を養う（コミュニケーション能力）。 		

No. 3

授業番号	A0760	科目種別	基礎科目群
授業科目	基礎ゼミナール		
科目ナンバリング	GAA-101-3:全学共通	担当教員	山西 葉子
(2018年度以降入学生対象)	科目	開講期	前期
授業方針・テーマ	<p>テーマ【こどもの暮らしを考える】</p> <p>少子高齢化社会が進む中で、貧困、虐待、不登校など子どもを取り巻く深刻な課題も様々あります。医療・福祉制度の整備が進められてもなお、その狭間で十分な支援を受けられずに生活している人も多く存在します。現代を生きる子どもたち、障害児・者が持つ困難さがどのようなものなのか？今の自分自身の生活と照らし合わせながら考えていきます。</p> <p>そして、地域共生社会の実現に向けて「暮らし」を大きなテーマに、医療・福祉の専門領域に限らず、教育、人権、住環境など、多様な視点から論じ、皆が住みやすい社会づくりに向けて検討します。</p>		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<p>自ら、社会や身の回りの事象に関心を持ち、その課題を解決する能力と思考する力を身につけ以下を修得することを目指します。</p> <p>①グループ討論や共同調査を通じて、豊かな人原関係を形成するために必要な力を身に着ける（コミュニケーション能力）</p> <p>②社説、論文、書籍、「調査」、情報を取捨選択し「まとめ」、他者へ伝え「共有」し、「討論」する基本的な技術・能力を習得する（情報活用能力）</p> <p>③「自ら学び、考え、行動する」という能動的な学習姿勢を身につける（能動的学修姿勢）</p>		

No. 4

授業番号	Z0090	科目種別	キャリア科目
授業科目	国際交流概論 I		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GAG-106-1:全学共通 科目/XGE-131-1:国際副専攻コース	担当教員	岡村 郁子、嶋内 佐絵
		開講期	前期
授業方針・テーマ	<p>グローバル化の急速に進む現代社会において、専門的能力に優れ、各文化独特の価値観に縛られない柔軟な感性と判断力を備えたグローバルな人材が求められている。本学では海外の大学との協定に基づく交換留学や短期語学研修プログラム等を提供しており、留学や海外での滞在を希望する学生も年々増加してきた。学生時代の海外経験は、異文化にどう対処するかを学び将来のグローバルなビジョンを形成する格好の機会であるが、そのためには異文化理解や適応、危機管理に対する十分な準備は欠かせない。また一方で、日本国内の多文化共生についての理解を深めることも、グローバル社会に生きる市民の資質として極めて重要であろう。</p> <p>この授業では、主として東京都立大学からの留学を志す学生や将来的にグローバル社会で活躍したい学生を対象とし、異文化間で発生する問題やその体系的な理解、解決・対処方法などについて学び、留学や将来的なキャリア形成のための知識やスキルの習得を目指す。</p>		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する日本および国際社会の理解 ・留学や海外経験における異文化能力やコミュニケーションスキルの獲得 ・留学をキャリア形成につなげる視点の形成 		

No. 5

授業番号	X0074	科目種別	教養／都市・社会・環境
授業科目	社会と福祉		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GBA-102-1:全学共通	担当教員	矢嶋 里絵
	科目	開講期	後期
授業方針・テーマ	現実にわれわれの身のまわりで起きている事象をとりあげ、利用者の視点から社会福祉のあり方について考えます。		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・歴史・制度等、社会福祉について総合的・多角的に理解できるようになる（総合的問題思考力）。 ・社会福祉の諸課題に、主体的にとりくむ姿勢を身につけることができるようになる（能動的学修姿勢）。 ・社会の一構成員として社会問題をとらえ、その解決方法を考えることができるようになる（倫理観・社会的責任の自覚）。 		

No. 6

授業番号	X0023	科目種別	教養／文化・芸術・歴史
授業科目	フランス語圏の文化		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GBB-120-1:全学共通	担当教員	西山 雄二
	科目	開講期	後期
授業方針・テーマ	フランスの社会・文化・歴史などを概観できる、フランスの多様な世界への道案内講義。		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<p>本講義では、フランスに関する多様なテーマを取りあげながら、この国が培ってきた論理性、批評性、社交性、前衛性といった特質を浮き彫りにします。ただし、本講義の目的は、受講生にフランスの多彩な「情報を伝達」し、フランスの良否を「紹介」することではありません。受講生がフランスの諸事象を考察し理解することで、社会的・文化的・歴史的な比較と分析を通じて、私たちが生きている日本の状況を新しい視点からとらえ直す能力を磨くことが目的です。</p> <p>グローバル化の潮流のなかでアングロ＝サクソンの価値観が日本社会のいたるところに浸透し切っている現在、そうした価値観とは一線を画するフランスから、新たな社会的・文化的・歴史的な道筋を垣間見ることができるでしょう。フランスに限らず、西欧文化一般に興味のある学生、また、西欧文化に関心がなくとも日本社会について考え直したい学生が受講されることを期待します。</p>		

No. 7

授業番号	X0126	科目種別	教養／文化・芸術・歴史
授業科目	日本語と社会と文化		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GBB-124-1:全学共通	担当教員	松田 真希子
	科目	開講期	前期
授業方針・テーマ	日本および世界における日本語の社会と文化を多層的に理解できるようになること、そして自分自身の言語的文化的多様性に対する意識化を進めることをめざす。また意識化を促す上で有効な理論についても導入する。		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	日本および世界における日本語の社会と文化について多層的に理解できるようになる。 「日本語の社会と文化」についての理解を促す上で有効な理論（言語政策、継承語教育、日系移民文化、メトロリンガリズム、トランスランゲージング等）について、基礎的な知識を得ることができる。		

No. 8

授業番号	X0154	科目種別	教養／生命・人間・健康
授業科目	臨床心理学概論（生活の心理学）		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GBC-101-1:全学共通	担当教員	村松 健司、田中 里実
	科目	開講期	前期
授業方針・テーマ	人は生きていく上で、「こころ」と切り離されて生きていくことはできない。臨床心理学は、その「こころ」の領域に深く関係する学問である。臨床心理学という学問の入り口を知ること、自分自身についてだけでなく、他者のこころのありようについて思いをはせてもらいたい。 また臨床心理学は実学である。講義で得た知識を如何にして、体験知として落とし込んでいくのかを重視しているため、毎回のリアクションペーパーを通して、自己理解を深めてもらう。		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	学部における公認心理師受験資格を得るための知識を習得できる科目です。 本講義では、臨床心理学の4本柱と言われる「心理療法」「心理アセスメント」「地域支援」「臨床心理学的研究」について入り口の部分を概観するとともに、講義毎に課すリアクションペーパーを通して、自分自身の考え方のくせや、他者の考えるありようなどについても学んでもらう。		

No. 9

授業番号	Y0013	科目種別	基盤／人文科学領域
授業科目	人間・文化・社会		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GCA-101-1:全学共通 科目	担当教員 開講期	西山 雄二 ほか 前期
授業方針・テーマ	<p>本講義は人文社会学部の各教室が提供するオムニバス形式の講義です。ひとつの総合テーマについて、コーディネーター役教員の司会にそって、各学問分野の教員が各1回を担当します。</p> <p>「オムニバス (omnibus)」とは元来、「たくさんの人間が乗った乗合馬車」の意味ですが、本講義では、ひとつの目的地（テーマ）を目指す複数の講師から多面的なものを見方を学び、人文社会学系の知識を全方位的に開くことができるでしょう。もちろん、他学部の学生が受講しても有益な内容です。</p> <p>総合テーマ「悪／善」</p> <p>「善」はむしろ単純に表現されうるけれども、なぜ「悪」はかくも多種多様な経験によって表現されるのだろうか。暴力、殺害、盗み、強奪、虚偽といった人間が犯す罪や過誤。火災、浸水、地震、嵐といった自然現象。悪運や悪縁といった、私たちの世界構造の一部をなす形而上学的な悪。悪はいかに発生し、経過し、終結するのか。必要悪、つまり、正当化されるべき悪、赦されるべき悪、忘却されるべき悪とは何か。悪の意志、行為、現象、構造など、いかなる視点で悪は表現されうるのか。悪をいかに予防し、回避し、根絶するべきか。悪とは人間理性の欠如なのか、過剰なのか。往々にして悪とは善の反対物であり、善が善であるために悪が必要とされる。悪への問いはその対立項である善への問いをも含む。善と悪の中間地帯に黙って留まっていさえすれば、私たちは穏当な仕方では潔癖無実なのだろうか。なぜ私たちはしばしば、善ではなく悪の方に魅了されるのだろうか。悪と善の鏡像的關係を問うことは、私たちの世界や社会の限界に触れ、これを思考することである。「悪／善」のさまざまな問題系をめぐって、人文社会学系の各分野の教員が順番に、オムニバス形式で講義をおこなう。</p>		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<p>人間の普遍的な主題である「悪／善」をめぐって、人文社会学部の各学問分野ならではの発想、分析方法、思考スタイルを具体的に学びつつ、「悪／善」に関する多角的な学識を身につけます。</p>		

No. 10

授業番号	Y0031	科目種別	基盤／人文科学領域
授業科目	社会学A文		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GCA-103-1:全学共通	担当教員	丹野 清人
	科目	開講期	前期
授業方針・テーマ	<p>入門的授業として、社会学における基礎知識を習得する。なお、講義スケジュールの内容・順序等が変更される可能性があります。</p> <p>※授業の連絡等は kibaco を通して行われます。</p>		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<p>社会科学的な視点を獲得し、これを具体的な現実の諸問題の理解に活用できるようになることが目標である。</p>		

No. 11

授業番号	Y0061	科目種別	基盤／人文科学領域
授業科目	社会学B理		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GCA-104-1:全学共通	担当教員	堀内 進之介
	科目	開講期	後期
授業方針・テーマ	<p>この講義は、社会学の主要なトピックを網羅的に学ぶことを目的とする。社会学は、社会を観察することを通じて、社会に影響を与えられる私たち、そして反対に社会に影響を与え返す私たちの有り様を理解しようとしてきた学問である。それゆえ、社会が対象とする研究範囲は広く、また分析手法も多様である。そこで、この講義では、10の主要なテーマを選出し、社会学の重要キーワードを中心に解説する。講義で取り上げる10の主要テーマは以下の通りである。1. 個人と集団、2. 家族と教育、3. 労働と消費、4. 都市と犯罪、5. 政治と権力、6. 宗教と文化、7. 歴史と近代、8. グローバリゼーションと国家、9. 理論とモデルー日常的な行為が可能にするもの、10. 理論とモデルー日常的な行為を可能にするもの</p>		
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<p>(1) 社会学の方法や考え方を習得する。</p> <p>(2) 現代社会の諸相や諸問題を知る。</p> <p>(3) 主要な学説が現代を捉えている部分、捉え損なっている部分を議論できるようになる。</p> <p>(4) 社会学的な思考法を使って身近で起こっていることを観察・分析できるようになる。</p>		

No. 12

授業番号	Y0005	科目種別	基盤／人文科学領域
授業科目	文化人類学 A		
科目ナンバリング (2018 年度以降入学生対象)	GCA-105-1:全学共通	担当教員	綾部 真雄
	科目/XGE-134-1:国際副専攻コース	開講期	前期
授業方針・テーマ	<p>文化人類学とは、世界各地の人々の文化や思考様式に対する「共感力」と、地域的な事実や一見特殊に思える現象から出発してより普遍的な人類像を確立するための力、すなわち「遠心的想像力」を養うための学問である。我々はいよいよ、自文化にとっての「あたりまえ」が異文化にとっての「あたりまえ」とは異なるという単純な事実を忘れがちだが、その忘却は時に、異なる文化間、国家間に横たわる大きな確執や偏見を助長する。それを避けるためには、やはり「共感力」と「遠心的想像力」が必要である。</p> <p>本講義では、こうした観点から出発し、世界各地のローカルな文化や歴史的事実を紹介しながら、それぞれのトピックの中に「人間」という存在をより包括的にとらえなおすための様々なヒントを見出そうとする。それはそのまま、長期のフィールドワークに基づいて執筆されたエスノグラフィ（民族誌）や文化人類学的知見の紹介であると同時に、初学者向けの文化人類学の概説ともなる。</p> <p>ただし、文化人類学は「失われた文化／失われつつある文化」のノスタルジックな探求ではない。文化人類学は、常に人類の「今」を切り取るための視点をヴァージョンアップし続けて今に至る。</p>		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地のローカルなもの見方への共感力を身につける ・自己の視点を相対化する力を身につける ・様々な民族誌的事例の学習を通じて、世界の人々の暮らしぶりや価値感の多様性を理解する ・リアクション・ペーパーの執筆とその講評を通じて、論理運用能力と分析力を身につける ・各種映像の視聴を通じて、知識とイメージを有機的にリンクさせる 		

No. 13

授業番号	Y0046	科目種別	基盤／人文科学領域
授業科目	社会福祉学		
科目ナンバリング (2018 年度以降入学生対象)	GCA-107-1:全学共通	担当教員	坏 洋一
	科目	開講期	前期
授業方針・テーマ	社会福祉学への入門講義として、社会福祉の全体像に触れつつ、学問としての社会福祉学の基礎を学ぶ。		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉・社会保障の基礎知識を身につけることができる。 2 一般社会の支配的な価値観や観念を相対化することができる。 3 公正な社会を追求するための分析力と構想力の基礎を修得できる。 		

No. 14

授業番号	Y0066	科目種別	基盤／人文科学領域
授業科目	教育学		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GCA-110-1:全学共通	担当教員	杉田 真衣
	科目	開講期	後期
授業方針・テーマ	身近にあって、だからこそよくわかっているようで、よくよく考えてみるとよくわからない、つかみどころのないもの。それが教育ではないだろうか。この授業では、教育とは何かという難しい問いに、主に学校教育を取り上げて、いくつかのテーマから迫ってみる。		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学を学ぶ上での基本的な概念や技法を理解し、自らの教育経験を含む具体的な教育事象に当てはめて考えることができる（専門分野の基本的な知識・理解及び技術）。 ・教育をめぐる事象を科学的に捉え、論理的に考察できる（論理的思考力）。 ・教育の課題を自ら見つけ、それに取り組むかまえを身につける（能動的学修姿勢）。 ・教育における多様性の尊重について理解する（異なる文化・社会への理解）。 		

No. 15

授業番号	Y0054	科目種別	基盤／社会科学領域
授業科目	政治理論入門		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GCB-104-1:全学共通	担当教員	大澤 麦
	科目	開講期	後期
授業方針・テーマ	<p>私たちの社会生活を支えるリベラル・デモクラシーの基本前提には、自由で平等な人々が営む生の多様性への尊重がある。私たちが私的利益と公益性との衝突をしばしば経験し、また異なる価値観や文化的背景を持つ人々との共生の問題をいたるところで突きつけられるのは、まさにこのためである。</p> <p>この講義では、政治理論への誘いとして、こうした問題を現代政治の規範にかかわる「自由」「正義」「公共性」「寛容」という4つの観点から検討してみたい。</p>		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<p>受講者には、講義を通じて、「政治」の領域に発生する諸問題に潜む思想的契機を発見する眼を養ってほしい。あわせて、政治理論とそれが生まれた歴史的文脈との関係を理解することを求めたい。以上のことを通じて、リベラル・デモクラシーをひとつの政治文化と見る視点を持ち、その特質と問題点について各人の理解を深めることをとおして、多角的・総合的な視点から政治を論理的に考える力を身につけてもらいたい。</p>		

No. 16

授業番号	Y0069	科目種別	基盤／健康科学領域
授業科目	基本動作と移動障害		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GCD-103-1:全学共通	担当教員	橋本 美芽
	科目	開講期	後期
授業方針・テーマ	この講義では、人間の基本動作と移動動作、移動障がい者（移動に障害を有する方々）の障害別に特徴的な移動動作を紹介します。運動学で必要とされる、身体の動きを観察する知識の基礎を習得すること、及びその他の移動障がい者として視覚障がい者の歩行を理解することを目標としています。運動学の入門的位置付けの講義です。初歩的な用語の解説から始め理解しやすく解説します。		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	講義では、起居動作（寝る・起き上がる・座る・立ち上がる・立つ）と歩行（歩く）という人間の基本的な動作について、身体の重心の移動を中心に理解することから始め、身体の障害や運動能力の低下による移動の困難さ、歩行を補助する杖の使用、歩行に替わる移動方法である車椅子による移動、また、視覚障がい者の移動を取り上げ、多様な移動方法の特徴について理解することができます。ボランティア活動などで役立つ介助の基礎的な知識についても紹介します。		

No. 17

授業番号	Y0070	科目種別	基盤／健康科学領域
授業科目	基本動作と移動障害		
科目ナンバリング (2018年度以降入学生対象)	GCD-103-1:全学共通	担当教員	橋本 美芽
	科目	開講期	後期
授業方針・テーマ	この講義では、人間の基本動作と移動動作、移動障がい者（移動に障害を有する方々）の障害別に特徴的な移動動作を紹介します。運動学で必要とされる、身体の動きを観察する知識の基礎を習得すること、及びその他の移動障がい者として視覚障がい者の歩行を理解することを目標としています。健康福祉学部の運動学の入門的位置付けの講義です。初歩的な用語の解説から始め理解しやすく解説します。		
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	講義では、起居動作（寝る・起き上がる・座る・立ち上がる・立つ）と歩行（歩く）という人間の基本的な動作について、身体の重心の移動を中心に理解することから始め、身体の障害や運動能力の低下による移動の困難さ、歩行を補助する杖の使用、歩行に替わる移動方法である車いすによる移動、また、視覚障がい者の移動を取り上げ、多様な移動方法の特徴について理解することができます。ボランティア活動などで役立つ介助の基礎的な知識についても紹介します。		